

在宅医療連携拠点事業所 活動紹介

I 秋田県

横手市地域包括支援センター

II 岩手県 釜石市

III 東京都 板橋区医師会

IV 福岡県 宗像医師会(むーみんネット)

I 秋田県 横手市地域包括支援センター

担当部署は横手市直轄の地域包括支援センター
主要メンバーは包括支援センタースタッフ

地域特性を意識し事業展開

横手市役所
各課より2名ずつ選出し
チームを形成し対応

平成24年度 在宅医療連携拠点事業 北海道・北東北
ブロック活動発表会資料, P5.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/01012025.pdf.

5

西部地域

合併前から地域包括ケアを目指してきた



横手市保健医療福祉総合施設 健康の丘 おおもい

グループホーム 市立大森病院 介護老人保健施設 若健おおもい 生活支援ハウス

秋田県南部 老人福祉総合エリア 若健特養 老人ホーム 白寿園

高齢者専門施設センター 高齢地域包括ケアセンター 在宅高齢者連携拠点

デイサービスセンター

健康の丘全体の定員 約600名

担当職員

地域ケアコーディネーター
医療相談員歴40年
現大学非常勤講師等

主任介護支援専門員
老健おおもい、白寿園の
相談員、指導員歴30年

保健師
保健師歴32年
病院派遣1年

I 秋田県 横手市地域包括支援センター

地域包括支援センターは
住民との関わりを得意として
おり、
個別のケースに基づいた
個々の多職種との連絡・
調整も得意とする
その強みを活かし、
プロジェクトチームが事業所
全件へ挨拶に回り、
地域に求められている
生活を包括した多職種の
連携体制構築に関する説明と、
横手市が目指す方向性への
理解を促した

アンケート調査を対面型で
聞き取り、訪問型回収
⇒顔のみえる関係づくり
の第一歩

・医療機関	41か所(97.6%)	} 228か所 (95.5%)
・訪問看護ステーション等	5か所(100%)	
・居宅介護支援事業所	32か所(96.9%)	
・介護施設等	58か所(84.1%)	
・歯科診療所	41か所(100%)	
・薬局	51か所(94.4%)	

I 秋田県 横手市地域包括支援センター 横手市のここがすごい！！



平成24年度 在宅医療連携拠点事業
北海道・北東北ブロック活動発表会
資料. P5.

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/01012025.pdf.

秋田県全体の地域医療再生計画に連動し、横手市も地域再編において、より住民に近い立場として住民にとって暮らしやすい地域に向けて、市の方向性を打ち出す = **行政間 での連携**

→ 都道府県と 市行政の政策が連動しなければ住民は混乱する

Ⅲ. 秋田県

横手市地域包括支援センター

- 市直轄の包括支援センターでは、高齢化する住民を支援する上で医療ともっと密な連携(迅速な相談対応や取り組みへの協力)を求めていたが、きっかけがなかった
 - 拠点事業採択をきっかけに、積極的に 医師会をはじめ多職種へ挨拶。何度も通い、話し、地域の実情の理解や各職種の困りごとを直接聞き取る
- 行政間であっても、地域包括支援センター・保健所・役所・消防署等管轄がことなると横の連携がない
 - = 地域住民や多職種が困っている、行政はあまり認識していない
 - 行政も 横で繋がり、多職種の困り事へ積極的に解決できる姿勢を見せる
- 行政 と 各専門職は互いに何をしているのかを把握していない
 - 活動の相互理解、目指す地域の方向性を共有する
 - 説明にはイメージ図やわかりやすい資料作成を必ず持参する
 - 同じ資料を広報やホームページに掲載し、多くの人々へ公平に情報発信する

結果： 住民の為に！ という思いは専門職も 行政も同じ
専門職が奉仕として地域を裏方で支えている事を、行政が把握し支援する
⇒ インフォーマル・フォーマルな資源を包括し、地域包括ケアを構築